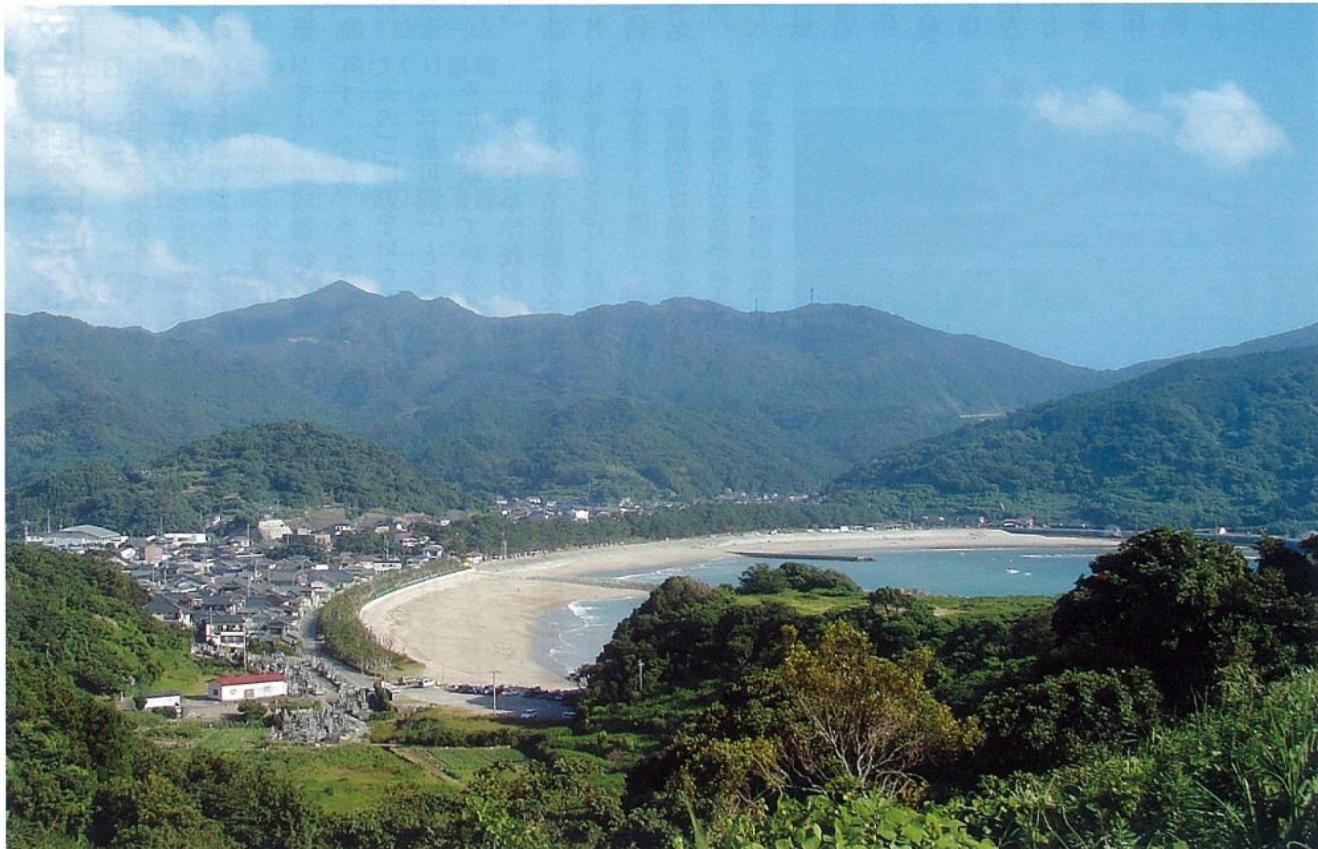


高浜地区振興会 広報

はとみね 鳩の峯

2006年(平成18年)8月15日

創刊号
第1号



十三仏公園から見た白鶴浜海水浴場

高浜地区振興会の報告と
広報『鳩の峯』の発刊を祝つて



高浜地区振興会長
松本 教夫

高浜の皆様暑い日が毎日続いておりますが、お変わりなくご健勝のこととご拝察申し上げます。

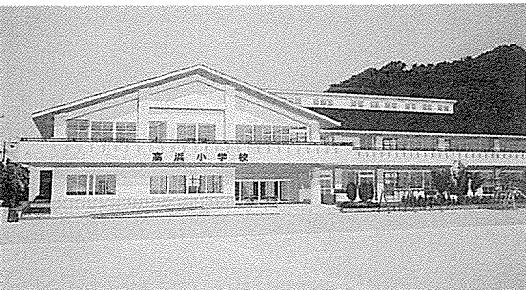
高浜地区振興会も昨年の九月発足以来、会員各位のご努力によって新しい町づくりのため、地域の特色や優れた点を引き出し、今何をなすべきか将来を見据えた検討を重ねております。振興会にも四部会が設置され、それぞれの部会では斬新な課題なども年間事業として取り上げ、既に実行している部会もあります。

今回新たに振興会の情報と意思を反映させようと有志が自主的に集まり、広報委員会を設立し、広報『鳩の峯』を発刊致しました。先祖代々のあゆみを代表する崇敬と親しみを持った清地『鳩の峯』の的確な題名、広報委員会の今後のご活躍を期待致します。

私ども振興会は樹木に例えれば植えたばかりの幼木です。大地に根を張り葉を覆い茂らすにはまだ時間をおきます。今後とも区民皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

「地域」と「地区振興会」を想う

高浜小学校は現在建設中です。小学校は平成十四年の調査で危険校舎となり、早期建設の取り組みがなされました。そんな折、町では合併に伴う地域づくりの自治組織「高浜地区振興会」が設立され、スタートしたばかりの振興会では暗中模索の中、地域づくりの意見が交されています。意見の中から最初の取り組みとなつたのが、昨年十一月「高浜小学校早期建設」と「西天草分署存続」を求める署名活動でした。メンバーには、戸惑いもありました。しかし、予想を超えた署名の成果には、地域の皆さんに対する気持ちに触れることができ、感慨深く思いました。「小学校建設」は国の財政の厳しい中の陳情でしたが、決定的な決め手となつたのは、やはり地域住民の地域に対する愛着と連帯感の表われの署名が、国県を動かしたのだと思います。



高浜小学校完成予想図

振興会は地域皆さんのもつとも身近な会です。ご協力、ご参加をお願い致します。

最後に小学校の新校舎の紹介と署名活動のご協力のお礼を申し上げ、経過報告と致します。

安全な環境の中で、こども達の声がひときわ響きわたることと思います。

「西天草分署存続」に関しでは、広域連合に陳情してます。今後、さらに地域の皆さんのご協力をいただきながら、「存続可能」となるよう検討を加え続けていきます。

最後に小学校の新校舎の紹介と署名活動のご協力のお礼を申し上げ、経過報告と致します。

虫追い祭

六月二十五日(日)

行列の順路

梅雨の晴れ間に豊作を祈願する「虫追い祭」が二十五日に行われた。

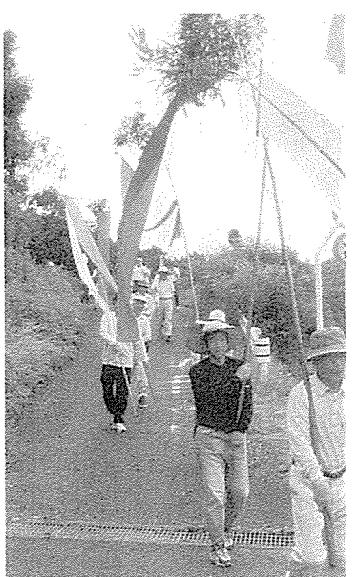
十五人は高浜川で、虫道中、稻が順調に育つよう

にとの思いを込め、青々と広がる稻田に御幣を立て、秋の実りへの願いをつなぎます。

行列の二

竹の先に五穀を表わす、赤・黄・青・白・緑の五色の旗が風になびき、虫を追い払うとされる、ほら貝・かね・太鼓の音はのどかに広がる稻田に響きます。

十五人は高浜川で、虫の旗を洗い、五穀豊穣を祈りました。



一斉清掃

七月九日(日)

その日は台風の影響が心配されましたが、予想を大きくはずれ、早朝から晴れ間が広がり、厳しい暑さの中での清掃となりました。

今回の一斉清掃は例年の清掃区域とは別に市道清掃が加わりました。今までの市道清掃(草刈)は行政サービスで行つてきました。しかし、三月の市・町合併を機に町(地域)ですることとなりました。

初めての取り組みとあつ

て、関係部会では、数回の話し合いがなされ、また、各地区においてもそれぞれ検討されました。その結果、各地区清掃ボランティア団体が形づくられたり、または事業所のボランティア団体ができました。

各地区の取り組み状況はそれぞれでしたが、「一斉清掃」地域皆さんの大いなるご協力で無事終了することができました。お疲れ様でした。ちなみに、市道清掃の総延長十四kmでした。

水天宮祭り

(高浜中向地区)
白鶴浜の松林の中

高浜中向地区・水天宮まつり
神事「芽の輪くぐり」
(平成十八年六月十一日)

水難事故防止を祈願して毎年六月の第一日曜日に行われますが、今年は、高浜地区の球技大会が四日に重なったため、六月十一日に行い、中向老人会(白桃会)・迫各委員・OBの人々が宮の周辺一、三〇〇m²を総勢四十人で、草刈清掃を約一時間かけて、奉仕作業を行った。しめ縄・茅の輪なども、飾りつけし、皆さん協力で予定より早く終わり、神事は午前十一時に行われた。

復活して十年目になる茅の輪くぐり無事を祈願した。

輪くぐり(チガヤを竹の軸に編み輪を作る)。木下神主さんを先頭に、直径一・二m輪を左足からくぐり「水無月の夏越の祓する人は、千年の命のふといふなり」(みなづきのなごしのはらへするひとは、ちとせのいのち、のぶといふなり)と唱えながら三回くぐる伝えがあり、このように、水天宮は、安産の神として婦女子の参詣となごしの潮にひたり無事を祈願した。



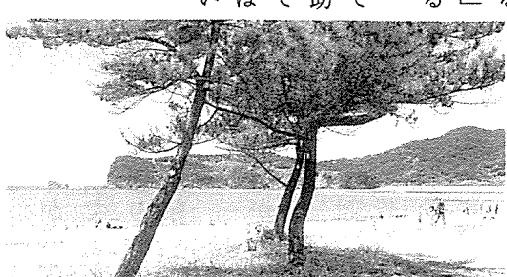
管理委託制度から指定管理者制度へ

はじめに、指定管理者制度とは公の施設の管理を法人や一定の団体に行わせることで、民間の能力を活用しつつ、住民のサービスの向上と経費削減等を図ることを目的とするものです。

これまで、白鶴浜海水浴場一帯の管理運営が天草町観光協会に管理を委託する管理委託制度から条例改正により、本年一月一日より、天草西海岸リゾート開発(代表・長田真さん)への指定管理者制度へ移行しました。改正当初は、老朽化した施設の管理や交通アクセス、環境の変化等による

海水浴客の減少で、管理運営は困難であると見られていましたが、その管理運営に名乗り上げられたのが、天草西海岸リゾート開発の長田さんです。長田さんは、指定管理者制度がスタートした今が、さまでんな反省のうえに立って変えるチャンスだと考えています。一度、松林の中でのキャンプ(テント宿泊、及びバーベキュー)をやめ、今後、テントの張れる所には、松の植栽を行い、元々の保安林として住民の生活環境を守る。

二、「白鶴浜に生息する「ハツボガニ」を活かして、捕らえて食べるためではなく、餌を求めて集まつてくる姿や、手にとって見て、その可愛らしさを楽しんでいたたく、そして海にかえす、そんな単純なことですがお子様づれや若者も楽しめる「ハツボガニウォッティング」を白鶴浜の「目玉商品」として、メジャーにする。これなら経費もさほど掛からずにする。鶴浜の「目玉商品」として、以上、「一点を重点目標とし、数年先には高浜の皆様に良くなつた、と言つてもらえば、よう頑張るそうです。私たち地域住民も、「高浜の財産



地域づくりまちづくり経過

Let's Study

今回は、生活習慣病についてです。生活習慣病とは、「食習慣・運動習慣・休養・喫煙・飲酒などの生活習慣が、その発病や進行に関与する症候群」と定義されています。

現在、生活習慣病の患者は、日本全体で約1,500万人いるといわれています。予備軍を含めて成人の3人に1人が何らかの症状があるとされています。

こういった生活習慣病（高血圧症・糖尿病・心疾患など）の多くに対しては、食事療法と適切な運動（ウォーキング・体操）をすることによって予防が可能です。

町では新庁舎予定地を「勤労者体育館駐車場付近」とし、建設費は「庁舎整備基金二億八千万円」としている。そのことについて「振興会役員会」では、予定地を「現庁舎地」で建設費は予定庁舎規模を縮小し、一億八千万円とし残り一億円を地域づくりに充てられないかとの意見であった。出席者からも検討はできないものとの意見がでした。

支所の説明は予定地について「まちづくり協議会」での内容説明は、数日後の「振興会役員会」でも報告と説明がありました。

広報委員会においても、で

ちづくり協議会に二つの要望意見がとりまとめられていた。一つ目は新庁舎建設の件。

支所では最善の案である。理解してほしいとの説明がなされ、了承された。

二つ目は「西天草分署の存続」の件で存続できるよう天草町全体としての取り組みをから賛同がいただけました。

きるだけ地域に関する情報を努力と工夫を重ね届けます。
地域皆さんのご意見をよろしくお願い致します。

編集後記

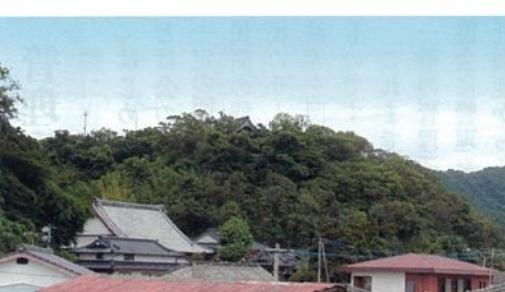
神聖な場所だそうです。
そんなことより我々が広報名を鳩の峯と決めた訳であります。それと鳩の峯より高浜夕しながら発行に至り「ホツ」としました。さて、鳩の峯とは何だろうと思われた方がいらっしゃると思います。これは場所の通称名であります。

私達が春・秋祭りに必ずと沂つて思い出す氏神様の鎮座されています八幡宮があるところです。これは文化十一年高浜村が大火になったあと、文化十二年より高浜八幡宮が鳩の峯に移すと、上田家文書に書いてあります。その場所は郷土史家松本教夫さんより話で聞きましたが、たいへん



宝探しだよ 地域づくり！

七月九日(日)白鶴浜で小学校のこどもたちと「ラジオ体操＆宝さがし」がありました。昼の「ラジオ体操」は暑かった。楽しみの「宝さがし」はどうとうみつけることができなかつた。よくよく考えると「宝さがし」はどうとうみつけましたがそれでもやはり美しいと思いました。



鳩の峯

記事募集

広報誌「鳩の峯」では、より良い紙面づくりのため、地域の皆様から、記事の募集をしています。どのような情報でもかまいませんので、お気軽に、ご連絡ください。また、広報委員が取材の際には、ご協力をよろしくお願ひ致します。

委員長 田中 光徳
副委員長 川原 靖
上田 芳穂
笠 森 洋子
宇土 恵美子
輝彦

名称は決定しましたが、問題は内容だと思います。私達スタッフも広報誌作りは初めて大変ですが、町民皆様のご協力を得ながら内容を充実していきたいと思います。これからもどうかよろしくお願ひして編集記とします。

名前は決定しましたが、問題は内容だと思います。私達スタッフも広報誌作りは初めて大変ですが、町民皆様のご協力を得ながら内容を充実していきたいと思います。これからもどうかよろしくお願ひして編集記とします。